読み物2 オバケと幽霊

足がないのは幽霊で、一つ目小僧はオバケ。たぶん多くの人はそのように答えるのではないでしょうか（35ページ）。では、「オバケ」と「幽霊」の違いは何か。あなたなら、どう説明しますか。

オバケと幽霊の違いについて書かれたものの中でも、よく知られているのが柳田國男の『妖怪談義』です。そこでは、次のような違いが挙げられています。

> 第一に、幽霊はどこへでも追いかけていくので、相手は逃げられないが、オバケは出る場所が決まっているので、そこへ行かなければ会うことはない。
>
> 第二に、幽霊は思う相手の前だけに現れるが、オバケは相手を選ばず、だれの前にも現れる。
>
> 第三に、人前に出てくる時間は、幽霊は丑三つ時、今の時間で午前２時ごろと決まっているが、オバケは人を怖がらせるのが仕事なので、その多くは人が起きている夜の初めか終わりごろに出てくる。また、中には昼間でも姿を表すことができる、優秀なオバケもいる。

つまり、オバケは決まった場所で、できるだけ多くの人に見られようと考えるのに対して、幽霊は決まった人と会うことだけを考えているということ

CamScanner ile tarandı

でしょうか。確かに[a]午前２時ごろなら、相手と二人だけの時間を過ごすこともやりやすくなるかもしれません。

一方、諏訪春雄は『日本の幽霊』の中で、妖怪という言葉を使って、オバケと幽霊の違いを次のように書いています。

1）幽霊はみんな死んだ人間だが、妖怪は生きているものや、人間以外のものもいる。

2）幽霊はみんな人の姿で現れるが、妖怪は人以外の姿で現れるものもいる。

3）幽霊は自分がだれか知られると消えてしまうが、妖怪はネコやヘビなど、元の姿に戻ってこの世界に残るものもいる。

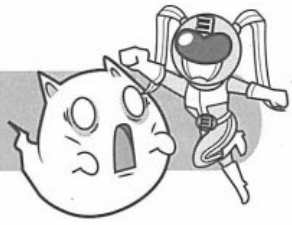
つまり、幽霊は死んだ人間だけがなれるという、厳しい資格の制限があるのに対して、オバケのほうはもっと自由で、ファッションも様々。また、[b]シャイな[注1)]幽霊に対して、図々しいオバケとも言えそうです。

さらに、「妖怪は人間以外のものもある」とある通り、ネコやヘビなどの生き物はもちろん、道具や石のようなものでも、オバケになることは可能です。例えば、「唐傘小僧」や「提灯お化け」は、それぞれ「傘」と「提灯」がオバケになったものだと考えられていますが、これは「すべてのものに命がある」という、日本人の昔からの考え方があるからなのかもしれません。

注1）shy。内気な。恥ずかしがる。

CamScanner ile tarandı

読み物2　問題



❶．オバケ、幽霊、妖怪の３つの中で、筆者（ひっしゃ）が同じものと考えているのはどれとどれですか。

＿＿＿＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿＿＿

❷．「ⓐ午前２時ごろなら、相手と二人だけの時間を過ごすこともやりやすくなる」とありますが、それはどうしてですか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から。

❸．「ⓑシャイな幽霊」とありますが、筆者がそう考えるのはどうしてですか。20字（「から」を入れて22字）で書いてください。

					か	ら								
				20		22								

❹．生き物であっても生き物でなくてもオバケになれるのはどうしてだと、筆者は考えていますか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から。

CamScanner ile tarandı

❺. 下線に言葉を入れて、文を完成してください。

オバケと幽霊の違いはまず、オバケは、①＿＿＿＿＿＿＿＿が決まっているが、幽霊にはそのような決(き)まりがない。また、オバケはできるだけ多くの人を怖がらせるため、多くの人に②＿＿＿＿＿＿＿＿ことが目的だが、幽霊は、③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ことだけが目的なので、丑三つ時、今の④＿＿＿＿＿＿＿＿ごろという、とても遅い時間に現れる。また、⑤＿＿＿＿＿になれるのは⑥＿＿＿＿＿＿人間だけで、いつも⑦＿＿＿＿＿の姿で現れる。そして、ネコや傘は⑧＿＿＿＿＿になることはできない。

発　展

① 「読み物１」は、オバケの話、幽霊(ゆうれい)の話、どちらですか。それはどうしてですか。

② あなたの国の怪談(かいだん)を紹介してください。

③ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

CamScanner ile tarandı

コラム

怪談を愛した外国人

「雪女」「ろくろ首」「耳なし芳一」……。ほとんどの日本人が一度は聞いたり、読んだりしたことがある物語。でも、これらを１冊の本にまとめて世の中に広めたのは外国人だったということは、意外に知られていません。その本の名前は『怪談』。出版したのはラフカディオ・ハーン（Lafcadio Hearn　1850～1904）という人物です。

ハーンはギリシャで生まれたアイルランド人で、アメリカへ渡ったあと、40歳のときに日本へ来ました。ハーンは日本がたいへん気に入り、島根県の松江に住むことになりました。松江では中学校の英語の先生になって、日本人女性、小泉節子と出会い、結婚して小泉八雲という名も持ちました。その後、46歳のときには今の東京大学で英文学を教えるようになり、日本国籍を取りましたが、54歳のとき、病気のため東京の自宅で亡くなりました。

ところで、ハーンが日本へ来たのは明治時代。近代化が急激に進み、お化けや幽霊のような「非科学的な」物語は時代遅れであると考えられるようになっていました。しかしハーンはそれに反対し、そのような物語の中にこそ、人間の本当の姿が描かれていると信じていました。

ハーンのおかげで、わたしたちは今でも「雪女」のような物語の数々を楽しむことができるのです。

CamScanner ile tarandı